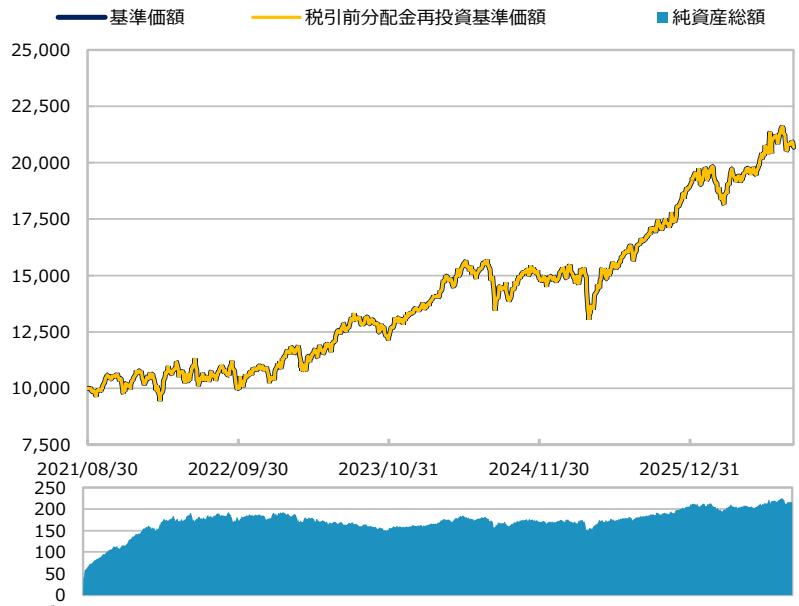
マンスリー・レポート

ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2026年09月30日

ファンド設定日：2021年08月31日　　日経新聞掲載名：ＢＷバリュ株

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	20,681	-945
純資産総額（百万円）	21,453	-1,014

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
１カ月	2026/08/31	-4.4
３カ月	2026/06/30	3.9
６カ月	2026/03/31	13.8
１年	2025/09/30	21.3
３年	2023/09/29	60.5
設定来	2021/08/31	106.8

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2022/08/15	0
第2期	2023/08/15	0
第3期	2024/08/15	0
第4期	2025/08/15	0
第5期	2026/08/17	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	99.5	+0.1
現金等	0.5	-0.1
合計	100.0	0.0

※ 組入マザーファンドの正式名称は「ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式	-419	+54	-474
先物等	0	0	0
為替	-495	－	－
分配金	0	－	－
その他	-31	－	－
合計	-945	+54	-474

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

SMBC 三井住友DSアセットマネジメント

ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

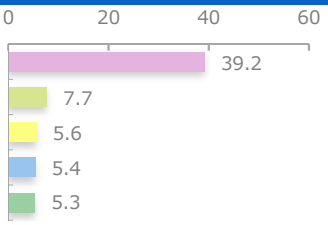
追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2026年09月30日

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
株式	96.6	+0.5
先物等	0.0	0.0
現金等	3.4	-0.5
合計	100.0	0.0

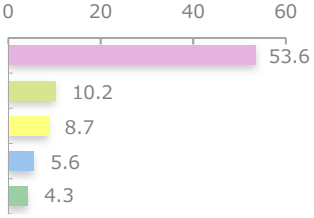
組入上位5カ国・地域（%）

		当月末	前月比
1	アメリカ	39.2	-1.1
2	イギリス	7.7	+0.5
3	日本	5.6	+1.2
4	オランダ	5.4	+0.1
5	フランス	5.3	-0.3



組入上位5通貨（%）

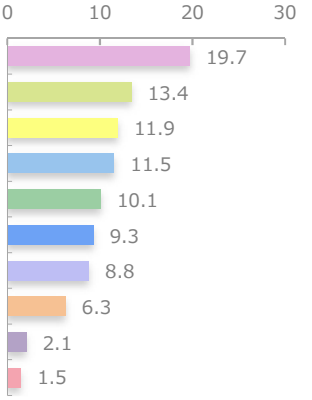
		当月末	前月比
1	アメリカドル	53.6	-1.2
2	ユーロ	10.2	-0.4
3	イギリスポンド	8.7	+0.6
4	日本円	5.6	+1.2
5	カナダドル	4.3	-0.2



組入上位10業種（%）

		当月末	前月比
1	金融	19.7	-0.2
2	情報技術	13.4	-0.7
3	生活必需品	11.9	-1.0
4	コミュニケーション・サービス	11.5	+0.4
5	資本財・サービス	10.1	+1.3
6	一般消費財・サービス	9.3	-0.5
7	ヘルスケア	8.8	+0.9
8	エネルギー	6.3	+0.1
9	その他	2.1	-0.0
10	不動産	1.5	+0.2

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。



（ご参考）ポートフォリオ特性値（倍）

	当ファンド	世界株
予想PER	11.9	18.6
PBR	1.7	3.8

※ 当月末の各組入銘柄の数値を加重平均した値です。
※ Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。
※ 世界株はMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスです。MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスは、当ファンドのベンチマークおよび参考指数ではありません。
※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2026年09月30日

※ このページはブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位10銘柄（%）　（組入銘柄数　71）

	銘柄 国・地域/業種	比率	コメント
1	メタ・プラットフォームズ アメリカ コミュニケーション・サービス	3.6	世界規模でソーシャルテクノロジーを提供する企業。人々のつながりやコミュニティ形成、個人・組織の成長を支援するプラットフォームを展開し、オンライン交流、広告、拡張・仮想現実など多様な分野に事業を広げている。
2	BNPパリバ フランス 金融	2.9	フランスの銀行。欧州を中心にグローバルに事業を展開。個人・事業法人向け銀行業務の他、貯蓄・投資・保険等のソリューション提供業務を行う。
3	TSMC(台湾セミコンダクター) 台湾 情報技術	2.9	半導体の設計を自前で行わず、受託製造に特化する"ファウンドリ"と呼ばれる業態のパイオニアであり、世界トップシェアを誇る。最先端技術への積極的な投資を行いつつ、優良顧客との強固な関係のもとで、高い収益性を実現。近年は配当支払いに積極的になっている。
4	エアキャップ・ホールディングス オランダ 資本財・サービス	2.8	ダブリンに拠点を置く航空機リース大手。航空機、エンジン、ヘリコプターなどを保有し、グローバルでリース事業を展開する。企業買収により業務拡大にも積極的。
5	コンステレーション・ソフトウエア カナダ 情報技術	2.6	カナダのソフトウェア企業グループ。垂直市場ソフトウェア（VMS）と呼ばれる業界特化型のソフトウェア事業の買収・管理を行う。世界各地で事業を展開。
6	マイクロソフト アメリカ 情報技術	2.4	WindowsやOfficeを提供する世界最大級のソフトウェア会社。新経営陣がOS無償化やクラウド事業に注力しており、アマゾンのAWS（Amazon Web Services）と並び、世界有数のクラウドサービスである「Microsoft Azure」に注目。
7	グローバル・ペイメンツ アメリカ 金融	2.2	決済・情報処理サービス会社。電子取引、事務処理、情報システムなどを手掛ける。世界各地の金融業、一般企業、政府、商業コミュニティに事業を展開。資金振替、商業向けの事務および経理、その他サービスを提供する。
8	セールスフォース アメリカ 情報技術	2.2	CRM（顧客管理システム）ソリューション提供企業大手。SaaS（必要な機能を必要な分だけサービスとして利用できるようにしたソフトウェア）タイプの本格的なクラウドコンピューティング・サービスを業界で初めて提供した会社。
9	ディアジオ イギリス 生活必需品	2.1	英国のアルコール飲料メーカー。ウイスキーやウォッカ、テキーラ、ジン、ビールなどで多数の有力ブランドを保有し、欧米をはじめ世界各地で販売している。
10	ウリィ金融グループ 韓国 金融	2.1	韓国の大手金融グループ。幅広い顧客基盤を有し、銀行業務を中心に、保険、クレジットカード、証券、資産運用など各種金融サービスを提供。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2026年09月30日

※ このページはブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

米国株式市場は小幅に下落しました。中東情勢への懸念が残る中、原油価格上昇によるインフレ懸念や債券市場の需給懸念などから長期金利が上昇したことが、株式市場の上値を抑えました。一方で、IT関連企業を中心に企業業績見通しの上方修正が続いたことが下支えの材料となりました。金融政策としては、中旬のFOMC（米連邦公開市場委員会）では約3年ぶりとなる利上げが実施されました。

欧州株式市場は下落しました。中東情勢の不透明感と原油価格や長期金利の上昇が下押し圧力となりました。企業業績に対する見方も米国ほど強いものとはなりませんでした。

＜運用経過＞

（ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド）

9月は、当ファンドのパフォーマンスは市場全体を下回りました。一方、四半期では市場全体を上回りました。セクター別では、情報技術セクターへの控えめなスタンスおよび銘柄選択が最もマイナスに寄与しました。国別では、マイナス寄与が大きかった銘柄が米国に集中していたことなどから、米国の銘柄選択が最もマイナスに寄与しました。

9月は、日銀による追加利上げ観測が強まる中、円への投資比率を引き上げるため、安定した警備事業で高い競争力を有し、株価も割安な水準にあるセコム（日本、資本財・サービス）を購入しました。一方、より魅力的な投資機会への資金配分を目的に、レキットベンキーザー・グループ（英国、生活必需品）を売却しました。

＜市場の見通しと今後の運用方針＞

米国株式市場では過去2年間にわたりグロース株を中心とした強いモメンタム（勢い）が続いており、その動きがグローバルにも広がっています。こうした相場展開は歴史的にみて過熱した水準に達しており、7月に大きく反転した後は変動の大きい展開となっています。運用チームでは、今後もモメンタム相場の反転が進む可能性があると考えています。

ポートフォリオでは情報技術セクターについて控えめなスタンスを維持していますが、より魅力的なバリュエーション（投資価値評価）水準と依然として慎重な投資家心理を背景に、引き続き半導体関連銘柄よりもソフトウェア関連銘柄を選好しています。また、ブラジルについては、10月の大統領選挙で野党候補が勝利する可能性は株価に十分織り込まれていないと考え、強気のスタンスを維持しています。さらに、日銀による追加利上げ観測が強まる中、円への投資比率を引き上げています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2026年09月30日

※ このページはブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

当ファンドの運用においては、引き続き、当ポートフォリオの基本である企業の本源的価値を見極めたバリュー投資を徹底します。

<注目する投資テーマ>

○ 韓国株
- 韓国株式市場では半導体関連銘柄の構成比率が高い中、運用チームではそれ以外の銘柄群を依然として選好。
- 株価上昇による資産効果が今後顕在化するとみている。
- 通貨は依然として割安な水準にある。

○ 欧州株
- ドイツの財政刺激策を主要な追い風として、引き続き欧州に対して強気なスタンスを維持。
- 当初のバリュエーション・ギャップからは縮小しているものの依然として大きく、世界的にみて魅力的なバリュー投資機会が残っている。
- エネルギー価格の上昇による景気への影響は、一時的なものにとどまったとみている。

○ 航空機関連株
- 民間航空機の供給不足は今後数年にわたり続くとみている。
- 航空会社、航空機リース会社ともに良好な価格決定力が続くとみている。

○ ソフトウェア株
- バリュエーションの大幅な調整を受けて、魅力的な投資機会が生じている。
- 足元の市場の混乱は投資家心理の悪化によるものであり、企業のファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）は引き続き総じて良好。

○ ブラジル株
- 世界でも利下げが見込まれる数少ない国の一つであり、実質金利は高い水準にある。
- 10月の大統領選挙を控えて政権交代の可能性が高まっているが、ボルソナロ氏の勝利は株価に十分織り込まれていないとみている。
- 国内経済関連銘柄を選好しており、質の高い企業を保有。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2026年09月30日

ファンドの特色

1. ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、実質的に日本を含む世界の取引所に上場している株式に投資します。
   ●不動産投資信託（REIT）、DR（預託証書）等を含みます。

2. マクロ分析に基づくトップダウンの国・通貨の投資判断とボトムアップの個別銘柄分析を組み合わせ、割安と判断した企業の株式に投資を行います。

3. 実質的な運用は、ブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーが行います。
   ●マザーファンドの運用にあたっては、ブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部を委託します。

4. 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
   ●基準価額は為替変動の影響を受けます。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
●運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
●投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
●当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】
内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】
ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】
外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】
海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2026年09月30日

投資リスク

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】
有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

○ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

○ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

○ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

● 投資対象国によっては、有価証券の売買を行う際の売買益等に対して課税される場合があります。将来、これらの税率や課税方法が変更された場合、または新たな税制が適用された場合、基準価額に影響を及ぼすことがあります。

● ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2026年09月30日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2021年8月31日設定）

決算日

毎年8月15日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。
分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。
※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- ●課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- ●公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- ●当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ●配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ●ニューヨークの取引所の休業日
- ●ロンドンの取引所の休業日

ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2026年09月30日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

○ 購入時手数料
購入価額に3.30%（税抜き3.00%）を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

○ 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○ 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年1.727%（税抜き1.57%）の率を乗じた額です。

○ その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
●監査法人等に支払われるファンドの監査費用
●有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
●資産を外国で保管する場合の費用　　等
※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税　配当所得として課税　普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税　譲渡所得として課税　換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。
ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2026年09月30日

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社　　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第399号 加入協会　　：　一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ　：　https://www.smd-am.co.jp コールセンター　：　0120－88－2976　［受付時間］午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社SMBC信託銀行
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。
投資顧問会社	マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、信託財産の運用を行います。 ブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシー

ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2026年09月30日

販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融商品取引業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本STO協会	備考
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○	
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○		○		
株式会社三井住友銀行（仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○		○		※1

備考欄について

※1：委託金融商品取引業者　ＳＭＢＣ日興証券株式会社

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。